

長崎に「風の大地美術館」

風光明媚な長崎市の風頭公園近くに小さな私設美術館がオープン。長崎市伊良林3丁目の画家、ウエダ清人（本名・上田清人）さん（64）が3日、自宅そばに「風の大地美術館」を開館した。入館無料。

ウエダさんは、新上五島町出身で県内公立中の元美術教師。現役時代は大地や人間などをテーマに、近年では県内の教会を描いた作品を発表している。

「多忙さを感じる現代、美術に親しみながらゆっく

画家のウエダ清人さん



ウエダさんが開設した「風の大地美術館」

長崎市伊良林3丁目（荒木勝郎撮影）

りとしたひとときを過ごし、表現する喜びも味わってほしい」というのが開設の動機。アトリエとして使っていた自宅近くにある一軒家を改修し、広さは約90平方尺。館内は白を基調と

「表現する喜び味わって」

で、訪れた人が気軽に絵手紙を描いたり、工作づくりも楽しめる。

この日始まった開館記念展「ウエダ清人の歩み」では、海原を描いた作品や心象風景など約30点を展示。オープンングパーティーもあり、大勢の入館者でにぎわった。

展示作品は毎月入れ替え、12月は教え子で長崎市在住の写真家、山頭範之さんの作品を並べる予定。ウエダさんは「地元の伊良林平自治会とタイアップした絵画教室などのイベントも展開したい」と話している。開館時間は午前10時～午後5時。水曜と木曜休館。ウエダさん（電090・7444・9037）。

（中村修二）



白を基調とした近代的なたたずまいの館内（荒木勝郎撮影）

長崎市伊良林3丁目（荒木勝郎撮影）